

(様式第4号)

## 第12回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成29年3月23日(木) 午後1時30分から午後3時15分まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、窪田委員、甲田委員、小林委員、坂田委員、竹内(榮)委員、竹内(弘)委員、竹下委員、龍野委員、西川委員、早坂委員、林委員、本間委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、土屋地域振興政策幹、堀内センター長補佐、佐藤主査
6 公開・非公開	公開 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成29年3月30日

### 協議事項等

#### 1 開会(副会長)

#### 2 あいさつ(会長)

#### 3 協議事項

##### (1) わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション(新規1件)

応募団体による事業説明及び委員との質疑応答

##### (2) 専門委員会の取組状況について

###### 「地域振興委員会」

(委員会代表者) 3月14日に委員会を開催した。農産物直売所のあり方を研究しているが、県内の先進事例として松本市にある道の駅「今井恵みの里」を視察したいということになった。委員会ということではなく、塩田地域協議会全体として視察研修の開催を提案したい。

市の中型バスが確保できた場合、次回、塩田地域協議会として視察研修を行うことに決定

###### 「地域福祉・教育委員会」

(委員会代表者) 塩田地域は「信州の学海」と言われるように昔から人材育成の重要な地域である。上田市は長野大学を公立化し、多くの優秀な学生を集め育成し、地域の活性化に向けて動き出している。しかし、大学の公立化は一步間違えると上田市の財政を圧迫する原因ともなる。

このため、長野大学が安定して多くの学生を集め育成し、地域に定着させるために、産・学・官・民は何ができるかを研究していくことにした。

具体的には、学生の意識や将来の夢(学生向けアンケート)、産業界(企業・商業等)の要望や必要人材、民間(地域住民組織、NPO他)の要望、官(行政)の取組や長野大学の取組について調査・研究していきたい。まずは公立大学として入学する新入生にアンケートを行いたい。

「地域環境保全委員会」

(委員会代表者)地域で問題になっている竹藪を解消するための方策について研究しており、竹をチップ化し、発酵した「竹粉」の農業面での有効性を調査するため、以下の取組を行う予定である。

農業者の協力を得て、畑で竹粉を使用した場合と従来の方法との比較栽培を行う。

長野大学の協力を得て、小松菜を条件の異なるプランターで栽培し、測定器等で効果の検証を行う。

また、塩田地域に多いのは淡竹であり、タケノコとしての利用についても今後研究していきたい。

「地域安心・安全委員会」

(委員会代表者)塩田地域の自治会に対して3月1日付けの自治会定期送達に合わせて「自主防災に関するアンケート調査」を行い、現在回収を行っている。

(3)わがまち魅力アップ応援事業審査<非公開>

応募事業(新規1件)の採否を決定した。

(4)その他

- ・事務局から平成29年度の塩田地域協議会開催日程案を説明  
質問等なし

4 その他

- ・事務局から次回平成29年度第1回の開催日程の説明。次回は松本市今井「道の駅 今井恵みの里」を視察する予定になったことから、次第に記載してある日程とは異なり、午前から午後にかけて行うことになった。

5 閉会(副会長)